

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和5年10月12日発行

1. 発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾病	疫学週				判断基準(定点当たり)		
	37週	38週	39週	40週	警報レベル	注意レベル	基準値
	9月11日～9月17日	9月18日～9月24日	9月25日～10月1日	10月2日～10月8日	開始基準値	収束基準値	基準値
インフルエンザ#	0	15	4	5	30	10	10
	—	5.00	1.33	1.67			
新型コロナウイルス感染症#	47	22	19	12	-	-	-
	15.67	7.33	6.33	4.00			
RSウイルス感染症	0	1	2	1	-	-	-
咽頭結膜熱	0	0	0	1	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0	0	0	0	8	4	-
感染性胃腸炎	5	6	7	3	20	12	-
水痘	0	0	0	0	2	1	1
手足口病	3	2	2	3	5	2	-
伝染性紅斑	0	0	0	0	2	1	-
突発性発しん	0	0	0	0	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	1	1	1	6	2	-
流行性耳下腺炎	0	0	0	1	6	2	3
	—	—	—	0.50			
眼科定点	急性出血性結膜炎				1	0.1	-
	流行性角結膜炎				8	4	-
基幹定点	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)				-	-	-
	無菌性髄膜炎				-	-	-
	マイコプラズマ肺炎				-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)				-	-	-
拡張疾患	マイコプラズマ肺炎(小児科)				-	-	-
	川崎病				-	-	-
	不明発疹症				-	-	-

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況) ◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者入所施設	医療機関
対応状況	○	◎	-
備考	手足口病	新型コロナウイルス感染症	

*「1.発生動向」の解釈について

・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数
 ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数
 ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

3. 新型コロナウイルス感染症の段階適用状況

国の基準に基づき、在院者数に応じた本県の段階(Ⅰ～Ⅲ)を定め、段階に応じて即応病床数を設定しています。

	段階	適用期間	県の在院者数
今週	0	10/11～10/17	101人
前週	0	10/4～10/10	119人

※県の在院者数は毎週水曜日時点

4. 栗原支所より

【 定点把握対象疾患 】

- ・ インフルエンザは前週より増加しています。
- ・ 新型コロナウイルス感染症は前週より減少しています。
- ・ 感染性胃腸炎は前週より減少しています。

【 集団発生情報 】

高齢者・障害者施設3か所において新型コロナウイルス感染症の集団発生がありました。PPE等の必要物品の在庫確認・補充、平時からの感染対策(手洗い、手指消毒、換気、PPE着用等)及び陽性者発生後のゾーニングについて再確認しましょう。

【 感染症コラム ～食中毒～ 】

- ・ 食中毒とは、食中毒を起こすもととなる細菌やウイルス、有毒な物質がついた食べ物を食べることによって、下痢や腹痛、発熱、吐き気などの症状が出る病気です。
- ・ 飲食店での食事が原因と思われるがちですが、毎日食べている家庭の食事でも発生しています。
- ・ 家庭での発生では症状が軽かったり、発症する人が1人や2人のことが多いことから風邪や寝冷えなどと思われるがちで、食中毒とは気づかれず、重症化することもあります。
- ・ 家庭での食事作りでの食中毒予防について3つのポイントをチェックしましょう。
 - 1.原因となる細菌等を食べ物に「付けない」
 - 2.食べ物に付着した細菌を「増やさない」
 - 3.食べ物や調理器具に付着した細菌等を「やっつける」

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
 ☎0228-22-2117 📠0228-22-7595
 HP:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html>